

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

富士マイクロは、時代とともに変化する「情報技術」と「顧客ニーズ」に合わせた「情報の保存及び伝達のソリューション」を提供し続け、いつの時代もお客様と社会から必要とされ期待される企業を目指します。

「情報」は、組織を支える基本的インフラであり、過去・歴史から教訓を学ぶとともに、未来の人々への説明責任を果たす必要不可欠な組織の貴重な共有財産です。こうした「情報」を管理・保存し後世へ伝えることは、過去・現在・未来をつなぐ組織の重要な責務です。

富士マイクロは、各組織の所有する紙文書及びマイクロフィルム等のアナログ情報をデジタル情報へ正確に変換し保存する事業、及び情報をマイクロフィルムで確実に後世へ保存する事業、及びデジタル情報をセキュアな状態で保存するサービスを通じ、大切な情報を「人から人へ」「過去から未来へ」正しく伝達するソリューションを提供しております。

これらの正しい「情報」を基に、各組織において様々な活動や意思決定が行われます。その結果、「誰一人取り残さない」持続可能な豊かな未来が築かれると考えます。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	幅広い分野のお客様に紙文書電子化サービスを提供し、CO2の削減に貢献する。	紙文書電子化枚数 2026年2%増加(2023年比)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	CO2排出量を削減する。	CO2排出量 2026年6,000kg-CO2削減(2023年比)
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	健康診断の結果をもとに、社員一人ひとりに健康目標(有所見項目の中から具体的な数値目標)をたててもらい、次回の定期健康診断の数値改善・有所見数の改善に取り組む。	特定保健指導者数 2023年 5名 → 2026年 3名

<パートナーシップ>

企業・官公庁・大学・図書館等の組織は地域社会の「情報(歴史・技術等)」を保有しています。富士マイクロは、これらの組織の「情報」を、お客様の使用目的に応じて最適な状態で保存(アーカイブ)する「事業」を行っており、「富士マイクロの従業員」一人ひとりも、富士マイクロの「事業」を通じ、社会貢献を行っております。また、富士マイクロは、従業員に対して、働きやすい「職場環境の整備」と業務遂行に必要な能力の「教育訓練」を行っております。

富士マイクロの「事業」により、各組織では、「情報」を正しく蓄積するという「社会問題が解決」されます。その正しい「情報」を基に、実行された組織活動と意思決定の確実性が高まることにより、「お客様」と「社会全体」が持続可能な成長を遂げることとなります。

同時に、「富士マイクロ」と「富士マイクロの従業員」には「経済的価値」がもたらされ、共通価値の創造(CSV経営)により両者にも持続可能な成長がもたらされます。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	熊本地震及び令和2年7月水害等の熊本で発生した甚大な自然災害の記録を残し、教訓を伝承し、地方自治体の取り組む災害に強いまちづくりに貢献する。 記録数(水害)の目標を上回り、達成した。	記録数(水害) 2020年→2023年 目標1万枚	記録数(水害) 2023年=19,400枚
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	改善提案制度において、「環境問題(CO2削減・省エネ・節水・分別等)」、「健康」に関する視点の改善を増やす。 改善数(環境問題・健康)割合の目標を上回り、達成した。	提出件数の内の割合 2020年→2023年 4% → 8%	改善案76件 →内改善数(環境問題・健康)23件 2023年=30%
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	従業員へ健康への意識啓発を行うとともに、定期健康診断における有所見数の改善に取り組み、健康寿命を伸ばす。 有所見者1人1項目の改善を目指し取り組んできた。 中高年の社員の改善があまり見られず未達成となったが、3項目以上改善した社員も2名おり、全体的には4%改善の21%となった。	社員全体の有所見数の改善 2020年→2023年 25% → 18%	社員全体の有所見数の改善 2023年=21%

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。